

10月の政治・経済イベント

重要 01 米国では量的緩和縮小開始の議論が進む

米国では新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトしつつあり、経済も回復してきています。9月に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では量的緩和の縮小開始の発表はなかったものの、年内開始が適切であるという考え方が示されました。一方、新型コロナウイルスの収束には依然として出口が見えていない状況であることから、政策金利の利上げ開始時期については慎重な見方が続きそうです。

重要 02 感染状況の回復、新政権への期待から日本株は上昇か

日本の9月の新型コロナウイルス新規感染者数は8月と比較すると減少傾向にあり、広い地域に9月末まで発出された緊急事態宣言に一定の効果が見られました。国民へのワクチン接種も順調に進んでおり、接種率は米国を上回るようになりました。世界的に見ると落ち着き始めた感染状況と、自民党総裁選での新政権誕生に伴う新政策への期待により、海外から日本株が見直される状況が続きそうです。

重要 03 政府の規制により業績が揺らぐ中国企業

中国では政府による不動産、学習塾、オンラインゲームをはじめとしたテック企業等への規制が強くなっています。特に不動産では、投機目的の住宅購入が規制され、上昇を続けていた住宅価格は軟調となっています。規制により不動産開発の大手である中国恒大集団は債務不安に陥っており、中国の金融市場は不安定な状態です。規制は国内の所得格差の解消等、中国のさらなる発展を促すことを意図していますが、足元の業績が揺らいでいる企業もある為、今後の動向には注意が必要です。

10月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
1日(金)	日本 	9月日銀短観（全国企業短期経済観測調査）
4日(月)	日本 	臨時国会召集（次期首相指名選挙）
8日(金)	米国 	雇用統計（9月）
13日(水)	世界	IMF（国際通貨基金）世界経済見通しの発表
18日(月)	米国 	鉱工業生産指数（9月）
18日(月)	中国 	7-9月期GDP、鉱工業生産指数、固定資産投資（9月）
28日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
28日(木)	日本 	金融政策発表、日銀展望レポート（経済・物価情勢の展望）公表
29日(金)	ユーロ圏 	7-9月期GDP（速報値）
29日(金)	米国 	個人所得、個人消費支出、個人消費支出デフレーター（9月）

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。